

# 根 菜 類

に ん じ ん

ば れ い し ょ

やまのいも(長芋)

ご ぼ う

もりあざみ(山ごぼう)

に ん に く

た ま ね ぎ

だ い こ ん

かんしょ(さつまいも)

こ ん に や く

# にんじん登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロロピクリン	-	1回	<圃場>2~3ml/1穴 <床土・堆肥>3~5ml/1穴	-	こぶ病、しみ腐病、紋羽病、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、センチュウ類、ケラ、一年生雑草	-	-	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロロピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種または定植21日前まで	1回	20~30kg	-	しみ腐病、ネコブセンチュウ、根腐病、萎凋病、一年生雑草、乾腐病、白絹病	-	-	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	
用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		2	ロブラール水和剤	播種前 収穫14日前まで	1回 4回以内	種子重量の0.5% 1,000~1,500倍	- 100~67g	黒葉枯病 斑点病、黒葉枯病	○	△	水和剤	種子粉衣 散布	イプロジオン	
		11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300g) 3,000倍(100~300g)	50~33ml 33ml	黒葉枯病 斑点病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
		19	ポリオキシAL水和剤	収穫7日前まで	5回以内	500倍(100~300g)	200g	黒葉枯病	○	○	水和剤	散布	ポリオキシ	
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	軟腐病、斑点細菌病	○	○	水和剤	散布	オキソリニック酸	
		P7	アリエッティ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	800倍(100~300g)	125g	黒葉枯病	○	○	水和剤	散布	ホセチル	
		24, M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100g	黒葉枯病、軟腐病、斑点細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、 塩基性塩化銅	
		M1	キノドーフロアブル	収穫3日前まで	5回以内	600~800倍(100~300g)	167~125ml	黒葉枯病	○	×	フロアブル	散布	有機銅	
		M1	クプロシールド	-	-	1,000倍(100~300g)	100ml	黒葉枯病、斑点病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	コサイド3000	-	-	500~1,000倍(100~300g)	200~100g	黒葉枯病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅	
	M1	Zボルドー	-	-	500~800倍(100~300g)	200~125g	黒葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	播種前	1回	6kg	-	ネキリムシ類	-	-	粒剤	全面土壌混和	ダイアジノン	
		1B	ネマトリンエース粒剤	播種前	1回	15~20kg 20kg/10a	-	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	-	-	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート	
	劇	3A	フォース粒剤	播種前 播種時	1回	12kg 4kg~12kg 4kg	-	クロバネキノコバエ類 ネキリムシ類	-	-	粒剤	全面土壌混和 作条土壌混和	テフルトリン	
		3A	ガードベイトA	生育初期、但し収穫7日前まで	5回以内	3kg	-	ネキリムシ類	速	長	粒剤	株元散布	ベルメリン	
	劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ヨトウムシ	速	長	乳剤	散布	シベルメリン	
	用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考			
土壌処理 除草剤		クロロIPC	播種直後(高温時除く)	300~600ml(70~100g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	IPC					
		ロロック	播種直後 (雑草発生始期)にんじん3~5葉期 (雑草発生始期、収穫30日前まで)	100~200g(70~150g) 100~150g(70~150g)	2回以内 (播種直後1回、 生育期1回)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	リニユロン					
		ゴーゴーサン乳剤	は種後出芽前(雑草発生前)	200~400ml(70~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ペンディメタリン					
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3葉期~5葉期 但し収穫14日前迄 雑草生育期イネ科雑草6葉期~8葉期 但し収穫14日前迄	150~200ml(100~150g) 200ml(100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム					
		ボルトフロアブル	雑草生育期(イネ科雑草の3~8葉期) 収穫45日前まで	200~300ml(100g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメカタビラを除く)	フロアブル	雑草茎葉散布または 全面散布	キザロホップエチル					
茎葉 除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期、播種前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート					
		ラウンドアップマックスロード	耕起前又は播種前まで (雑草生育期)	200~500ml (通常散布50~100リットル/10a、 少量散布25~50リットル/10a)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩					

# ばれいしょ登録農薬適用表(1) (殺菌・殺虫・除草剤)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		21	オラクル粉剤	植付前	1回	20kg	—	粉状そうか病	○	×	粉剤	全面土壌混和	アミスルプロム		
		36	ネビジン粉剤	植付時	1回	60kg 30kg	—	そうか病、粉状そうか病 そうか病	○	×	粉剤	全面土壌混和 作条土壌混和	フルスルファミド		
		29	フロンサイド水和剤	植付前	6回以内 (植え付け前の土壌混和1回まで、 浸漬1回まで、散布4回まで)	600g(1000ℓ)	—	塊茎褐色輪紋病、粉状そうか病	○	×	水和剤	全面散布 土壌混和	フルアジナム		
	100倍					—	そうか病	種いも瞬間浸漬							
	収穫14日前まで			1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50g	疫病、菌核病	散布								
			2	ロブラル水和剤	植付前	4回以内 (但し、種いも散布は1回以内)	125倍(3ℓ/種いも100kg)	—	黒あざ病	○	×	水和剤	種いも散布	イプロジオン	
					収穫前日まで	—	1,000倍	100g	菌核病、夏疫病	○	×	水和剤	散布		
			21	ランマンフロアブル	収穫7日前まで	4回以内	1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	シアゾファミド	
			31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシニコック酸	
			24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	3回以内	500~800倍(100~300ℓ) 800倍(100~300ℓ)	200~125g 125g	軟腐病 疫病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、銅	
			M1	コサイド3000	植付前	—	100倍	—	そうか病	○	×	顆粒水和剤	種いも瞬間浸漬	銅	
				—	—	1,000倍(100~300ℓ)	100g	疫病、軟腐病	散布						
		M1	ドイツボルドーA	—	—	400~800倍(100~300ℓ)	250~125g	疫病	○	×	水和剤	散布	銅		
		M1	ICボルドー66D	—	—	50倍(100~300ℓ)	2ℓ	疫病	○	×	水和剤	散布	銅		

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	植付前	1回	4~6kg	—	ケラ、ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和 又は作条土壌混和	ダイアジノン		
		1B	スミチオン乳剤	収穫3日前まで	6回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	アブラムシ類、テントウムシダマシ類	速	短	乳剤	散布	MEP		
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	テントウムシダマシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
	2,000~6,000倍(100~300ℓ)						50~17g	アブラムシ類							
	2,000倍(100~300ℓ)						50g	ジャガイモガ							
			3A	トレボン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンプロックス	
			29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
			28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	ハスモンヨトウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	
	劇	21A FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	アブラムシ類、ナストビハムシ	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	植付後萌芽前(雑草発生前)	200~400ml(100~150ℓ)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期植付前又は植付後萌芽直前	100~200ml(100~150ℓ)	1回	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
			収穫21日前まで(畦間処理:雑草生育期)	300~500ml(100~150ℓ)	2回以内					
雑草除草剤 (選択性)		毒	ブリグロックスL	萌芽直前畦間処理、雑草生育期 (但し、収穫前日まで)	400~600ml(100~150ℓ)	2回以内	一年生雑草	雑草茎葉散布	ジクワット・パラコート	
			雑草生育期(イネ科雑草6~8葉期)(収穫前日まで)	200ml(100ℓ)						

# やまのいも(長芋)登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	農薬総使用回数、合わせて1回以内 <圃場>2~3ml/1穴	—	褐色腐敗病、根腐病、センチュウ類、ハガネムシ類、ネキリムシ類、ケラ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	IRAC 8	ドクロクロール	—	1回		<圃場>2~3ml/1穴	—	褐色腐敗病、根腐病、センチュウ類、ハガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	植付け21日前まで	1回	20~30kg	—	褐色腐敗病、根腐病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		1、M3	ベンレート水和剤20	植付け前	1回	100~200倍(10分)	—	青かび病、褐色腐敗病	○	○	水和剤	種いも浸漬	テウラム、ベノミル	
						20倍(2秒)	—	根腐病						
		M7	ペルクートフロアブル	植付け前 収穫7日前まで	5回以内 (種いもへの処理は1回)	200倍	—	青かび病	○	△	フロアブル	10分間種いも浸漬 散布	イミノクタンジアルベシル酸塩	
						1,000倍(100~300g)	100ml	炭疽病、葉渋病						
		M5	ダコニール1000	収穫30日前まで	6回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	炭疽病、葉渋病、つる枯病	○	×	フロアブル	散布	TPN	
		11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	葉渋病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	葉渋病、炭疽病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン	
		M1	キノンドー水和剤40	収穫14日前まで	5回以内	600倍(100~300g)	167g	葉渋病	○	×	水和剤	散布	有機銅	
	M1	コサイド3000	—	—	2,000倍(100~300g)	50g	葉渋病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅		
	M1	Zボルドー	—	—	500倍(100~300g)	200g	炭疽病、葉渋病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	植付時	1回	20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート	
		4A	ダントツ粒剤	植付時	1回	6~9kg	—	コガネムシ類	中	長	粒剤	作条処理土壌混和	クロチアニジン	
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで 「むかご」は収穫21日前まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、アザミウマ類、ナガイモコガ	中	長	水溶剤	散布	アセタミプリド	
	劇	3A	フォース粒剤	植付時	1回	4kg 6kg	—	タネバエ ネキリムシ類	—	—	粒剤	植溝土壌混和	テフルトリン	
		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン	
		3A	トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	アブラムシ類、ヤマノイモコガ、ハスモンヨトウ	速	中	乳剤	散布	エトフェンプロックス	
	劇	3A	マブリック水和剤20	収穫7日前まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類、ヤマノイモコガ、ハスモンヨトウ	速	長	水和剤	散布	フルバリネート	
		6	コロマイト乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン	
		29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカド	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	カンザワハダニ、ナガイモコガ	速	中	フロアブル	散布	クルルフェナビル	
		25A	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~350g)	100ml	ハダニ類	速	中	フロアブル	散布	シフルメトフェン	
	28	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、ナガイモコガ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニプロロール		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫30日前まで (雑草生育期植付前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期、 但し収穫60日前まで	150~200ml(100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタタラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
			雑草生育期イネ科雑草6~8葉期、 但し収穫60日前まで	200ml(100~150g)						
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	植付後萌芽前(雑草発生前)	200~400ml(100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
			ロックス	植付直後 生育期・但し収穫60日前まで (雑草発生前~発生初期)	100~200g(70~150g)	2回以内	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布 畦間土壌散布	リニユロン

# ごぼう登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<圃場>2~3ml/穴 <床土・堆肥>1穴当り3~5ml	—	ハリガネムシ類、ネキリムシ類、ケラ、黒あざ病、センチュウ類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種28日前まで	1回	20~30kg	—	萎凋病、黒あざ病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		14	リゾレックス粉剤	播種前	1回	40kg	—	黒あざ病	○	×	粉剤	全面土壌混和	トルクロホスメチル	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	黒斑細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、 塩基性塩化銅	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	播種前	1回	20kg	—	ネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	播溝土壌混和	ホスチアゼート	
		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	ダイアジノン	
	劇	1A	ランネット45DF	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	アブラムシ類	遅	短	水和剤	散布	メソミル	
	劇	3A	フォース粒剤	播種時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	テフルトリン	
		3A	ガードベイトA	播種時~生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン	
	劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫14日前まで	5回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類、ヒョウタンゾウムシ類	早	長	乳剤	散布	シベルメトリン	
		4A	アドマイヤー1粒剤	播種時 収穫7日前まで	1回 2回以内	4kg	—	アブラムシ類	—	—	粒剤	播溝土壌混和 株元散布	イミダクロプリド	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クロロIPC	播種直後	200~500ml (70~100ℓ)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	IPC	
		アグロマックス水和剤	播種後発芽前(雑草発生前)	200~300g (100ℓ)	1回	一年生雑草(キク科、ヤツツグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 (収穫30日前まで)	150~200ml (100~150ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメカビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
	雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 (収穫30日前まで)		200ml (100ℓ)							

# もりあざみ(山ごぼう)登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	ガスタード微粒剤	は種21日前まで	1回	30kg	—	黒あざ病、半身萎凋病、一年生雑草	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		M5	ダコニール1000	収穫30日前まで	3回以内	1,000倍(100~3000)	100ml	ステムフィリウム葉枯症	○	×	フロアブル	散布	TPN	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	は種時	1回	6kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	土壌表面散布	ダイアジノン	
		3A	ガードベイトA	生育初期 (但し、収穫7日前まで)	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメリン	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫30日前まで (雑草生育期は種前または畦間処理)	300~500ml (100~1500)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) (但し収穫7日前まで)	150~200ml (100~1500)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は 全面散布	セトキシジム	
土壌処理 除草剤		アグロマックス水和剤	は種後発芽前 (雑草発生前)	150~200g (1000)	1回	一年生雑草(キク科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	

# にんにく登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分
殺菌剤		M3 1	ベンレート水和剤20	植付前	1回	種球重量の0.5~1% 種球重量の1%	黒腐菌核病 イモグサレセンチュウ	—	—	水和剤	種球粉衣(湿粉衣)	チウラム ベノミル
		2	スミレックス水和剤	植付前	1回	種球重量の0.4%	黒腐菌核病	—	—	水和剤	種球粉衣(湿粉衣)	プロシミドン
		11	アミスター20フロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	さび病、葉枯病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン
		24 M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~300ℓ)	春腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン 塩基性塩基銅
		11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	さび病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル
		M5	ダコニール1000	収穫7日前まで	6回以内	1,000倍(100~300ℓ)	黄斑病、葉枯病、白斑葉枯病、さび病	○	×	フロアブル	散布	TPN
		41 25	アグリマイシンー100	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	春腐病	○	○	水和剤	散布	オキシテトラサイクリン ストレプトマイシン
		3 M3	テーク水和剤	収穫7日前まで	3回以内	600~800倍(100~300ℓ)	さび病、葉枯病、白斑葉枯病	○	△	水和剤	散布	シロチゾール マンゼブ
		M7 19	ポリバリン水和剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	葉枯病、黄斑病	○	○	水和剤	散布	イミノクタジン酢酸塩 ポリオキシシン
		M7	ベルコート水和剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(150~300ℓ)	葉枯病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	葉枯病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール
		M1	コサイド3000	—	—	2,000倍(100~300ℓ)	春腐病	○	×	ドライフロアブル	散布	水酸化第二銅
		M1	ICボルドー66D	—	—	50倍(100~300ℓ)	春腐病、白斑葉枯病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅
		M1	Zボルドー	—	—	500倍(100~300ℓ)	春腐病、さび病、白斑葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅
用途	毒劇	IRACコード	薬剤	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分
殺虫剤		1	ネマトリンエース粒剤	植付前	1回	25kg	イモグサレセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート
	劇	1	ダイアジノン水和剤34	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	ネギコガ	速	短	水和剤	散布	ダイアジノン
	劇	21 FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	ネギコガ、アザミウマ類、アブラムシ類、チューリップサビダニ、さび病	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド
	劇	3	マブリック水和剤20	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	アブラムシ類、ネギコガ	速	長	水和剤	散布	フルバリネート
	劇	4	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	アザミウマ類、ネギコガ(2,000~4,000倍)、	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド
用途	毒劇	薬剤	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分			
除草剤		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期植付前又は畦間処理)	2回以内	300~500ml(100~150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート			
		クレマート乳剤	植付後萌芽前(雑草発生前)	1回	200~400ml(100~150ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス			
		ゴーゴーサン乳剤	植付前(マルチ前) 植付後(雑草発生前) (但し、収穫60日前まで)	1回	300~500ml(70~150ℓ) 300~500ml(70~100ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ペンディメタリン			
		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)(但し、収穫7日前まで)	1回	150~200ml(100~150ℓ)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は全面散布	セトキシジム			
		ロロックス	植付前(マルチ前)(雑草発生前) 植付後~萌芽前(雑草発生前)	1回	100~150g(70~150ℓ) 100~150g(70~150ℓ)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	リニユロン			
展着剤	野菜類登録の剤(P50)を使用して下さい。											

# たまねぎ登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回 (圃場)	<床土・堆肥>1穴当り3~5ml	—	疫病、苗木枯病、センチュウ類	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
						<圃場>1穴当り2~3m	—	ケラ、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草						
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種14日前まで	1回	10~20kg	—	一年生雑草	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダゾメット	
						20kg	—	べと病						
						20~30kg	—	ネコブセンチュウ、一年生雑草、乾腐病、白絹病						
						30~60kg	—	黒腐菌核病						
						30kg	—	紅色根腐病						
20~40kg	—	苗木枯病												

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		29	フロキサイド水和剤	定植直前	1回	50倍	—	乾腐病	○	×	水和剤	5分間苗根部浸漬	フルアジナム		
				収穫7日前まで	5回以内	500倍(25g)	—	灰色かび病				散布(フォーム)			
				1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	べと病、灰色かび病、灰色腐敗病	散布								
				1,000倍(100~300g)	100g	白色疫病									
		1	ベンレート水和剤	播種前	1回	1g/1kg培土	—	乾腐病	○	○	水和剤	育苗培土混和	ペニミル		
				移植直前		20倍	—					3分間苗根部浸漬			
				定植前		100倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約5g)あたり500ml	—					灌注			
				収穫前日まで		6回以内	2,000~3,000倍(100~300g)					50~33g			灰色腐敗病
	2,000倍(100~300g)	50g	灰色かび病、黒かび病												
		1	トップジンM水和剤	定植直前	6回以内 (但し、定植後は5回以内)	500倍	—	灰色腐敗病	○	○	水和剤	5分間苗根部浸漬	チオファネートメチル		
				収穫前日まで		500~1,000倍(100~300g)	200~100g	灰色腐敗病、小菌核病				散布			
		3	トリフミン水和剤	定植直前	1回	50倍	—	乾腐病	○	○	水和剤	5分間苗根部浸漬	トリフルミゾール		
				定植前		50~100倍(セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約5g)当り0.5g)	—					苗床灌注			
		11	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	クレシキシメチル		
				2,000倍(100~300g)		50ml	灰色腐敗病								
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	べと病、灰色腐敗病、灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン	農薬剤注意	
				3回以内		2,000倍(100~300g)	50ml	べと病、灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病、黒かび病							
		24、M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	5回以内	1,000倍(100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅		
				収穫7日前まで		500倍(100~300g)	200g	べと病、灰色かび病、軟腐病							
		M1	コサイド3000	—	—	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	軟腐病	○	×	顆粒水和剤	散布	水酸化第二銅		
						1,000倍(100~300g)	100g	りん片腐敗病							
		40、M1	フェスティバルC水和剤	収穫7日前まで	3回以内	600~800倍(100~300g)	167~125g	べと病、白色疫病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ、塩基性塩化銅		
				3回以内		1,000倍(100~300g)	100g	べと病、白色疫病、灰色かび病							
		40、M5	プロボーズ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて6回以内	1,000倍(100~300g)	100g	べと病、白色疫病、灰色かび病	○	○	顆粒水和剤	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル、TPN	同成分剤の使用回数に注意
				6回以内			1,000倍(100~300g)	100ml	べと病、灰色かび病、白色疫病						
		M5	ダコニール1000	収穫7日前まで	6回以内	6回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	べと病、灰色かび病、白色疫病	○	×	フロアブル	散布	TPN	同成分剤の使用回数に注意
				3回以内			1,000倍(100~300g)	100g	灰色かび病、灰色腐敗病、黒斑病						
		2	ロブラール水和剤	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	灰色かび病、灰色腐敗病、黒斑病	○	△	水和剤	散布	イブロジオン	
4回以内				2,000倍(100~300g)			50ml	白色疫病、べと病							
	21	ランマンフロアブル	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	白色疫病、べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
			5回以内			1,000倍(100~300g)	100g	軟腐病							
	31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	5回以内	5回以内	1,000倍(100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキサソニック酸		
			5回以内			500~750倍(100~300g)	200~133g	灰色かび病							
	19	ポリオキシメAL水和剤	収穫3日前まで	5回以内	農業総使用回数、合わせて5回以内	500倍(100~300g)	200g	ネギアザミウマ、小菌核病	○	○	水和剤	散布	ポリオキシメ複合体	同成分剤の使用回数に注意	
			500倍(100~300g)			200g	750~1,000倍(100~300g)	133~100g							灰色腐敗病、灰色かび病
	M7、19	ポリバリン水和剤	収穫3日前まで	5回以内	5回以内	750~1,000倍(100~300g)	133~100g	灰色腐敗病、灰色かび病	○	○	水和剤	散布	イミノクタン酢酸塩 ポリオキシメ	同成分剤の使用回数に注意	
			1,000~1,500倍(100~300g)			100~67ml	灰色かび病、灰色腐敗病								
	7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67ml	灰色かび病、灰色腐敗病	○	○	顆粒水和剤	散布	ボスカド		
			1,500倍(100~300g)			67ml	小菌核病								

◆ポリバリン水和剤についてR7年度から在庫販売になる為、R7年度に農業適用表から削除になりますのでR6年度中での使用をお願いします。



# たまねぎ登録農薬適用表(2) (殺虫・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時又は定植時	2回以内	3~5kg	—	ケラ、コオロギ、タネバエ、タマネギバエ	—	—	粒剤	作付前:全面土壌混和 又は作業土壌混和 作物生育中:作業処理して 軽く覆土	ダイアジノン		
			ダイアジノン粒剤5	収穫30日前まで		4~6kg	—	コガネムシ類幼虫							
		劇	1B	ダイアジノン乳剤40	収穫21日前まで	2回以内	700~1,200倍 (100~300ℓ)	143~83ml	アザミウマ類	速	短	乳剤	散布	ダイアジノン	
					1,000倍 (100~300ℓ)		100ml	アブラムシ類							
					700倍 (100~300ℓ)		143ml	タマネギバエ							
					1,000~2,000倍 (100~300ℓ)		100~50ml	ネギハモグリバエ							
			1B	スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300ℓ)	100~50ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	MEP	
					700~1,000倍 (100~300ℓ)		148~100ml	アザミウマ類							
			1B	マラソン乳剤	収穫7日前まで	6回以内	2,000~3,000倍 (100~300ℓ)	50~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	速	短	乳剤	散布	マラソン	
					1,000倍 (100~300ℓ)		100ml	ハモグリバエ類							
		3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメリン		
	劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	5回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50ml	アザミウマ類、シロイテモジヨトウ、ネギハモグリバエ	速	長	乳剤	散布	シベルメリン		
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド		
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300ℓ)	50g	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	速	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (選択剤)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 (但し収穫14日前まで)	150~200ml (100~150ℓ)	2回以内	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
			雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 (但し収穫14日前まで)	200ml (100~150ℓ)						
茎葉除草剤 (非選択性)		ラウンドアップマックスロード	耕起5日前まで(雑草生育期) 収穫7日前まで(雑草生育期:畦間処理)	200~500ml (通常散布50~100ℓ)、 (少量散布25~50ℓ)	3回以内	一年生雑草(秋播栽培、春播栽培)	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
			耕起又は定植14日前まで(スギナ生育期)	1500~2000ml (通常散布50~100ℓ)、 (少量散布25~50ℓ)						
			バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150ℓ)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート
	毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前 畦間処理:雑草生育期、但し収穫3日前まで	600~1,000ml (100~150ℓ)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、バラコート	
土壌処理 除草剤		ゴーゴーサン乳剤	定植前(雑草発生前)	300~500ml (70~150ℓ)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布 (移植栽培)	ペンディメタリン	
			定植後(雑草発生前)(但し、収穫30日前まで)							

# だいこん登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100a調整時薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	FRAC M3 IRAC 8F	ガスタード微粒剤	播種21日前まで	1回	20～30kg	—	一年生雑草、萎黄病、 根こぶ病、バーティシリウム黒点病	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	
						10～20kg	—	ネグサレセンチュウ						

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100a調整時薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		4, 11	ユニフォーム粒剤	は種前	1回	6～9kg	—	白さび病	○	×	粒剤	全面土壌混和	メタラキシルM、 アゾキシストロビン	
						6kg	—	白さび病				作条土壌混和		
		11	アミスター20フロアブル	収穫14日前まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	白さび病、ワッカ症	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	
		M5	ダコニール1000	収穫45日前まで	3回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	炭疽病、白さび病、白斑病、ワッカ症	○	×	フロアブル	散布	TPN	
		31	スターナ水和剤	収穫14日前まで	5回以内	1,000倍(100～300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシリニック酸	
		24, M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100～300g)	100g	軟腐病、ワッカ症、黒斑細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、 塩基性塩化銅	
M1	ヨネボン水和剤	収穫7日前まで	4回以内	500倍(100～300g)	200g	白さび病、軟腐病、黒斑細菌病	○	×	水和剤	散布	ニルフェノールスルホン酸銅			
M1	Zボルドー	—	—	—	500倍(100～300g)	500g	白さび病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100a調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	は種前	1回	15kg～25kg	—	ネグサレセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
						15kg～20kg	—	ネコブセンチュウ							
		1B	ダイアジノン粒剤5	は種時 は種時及び生育期(但し、収穫 21日前まで) 生育期 但し、収穫21日前まで	1回	農業総使用 回数、合せて 2回以内	4～6kg	—	コガネムシ類幼虫、タネバエ、ケラ、ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和 又は作条土壌混和	ダイアジノン	
							6kg	—	キスジノミハムシ				種時 作条土壌混和 作物生育中、株元土壌混和		
							6kg	—	ネキリムシ類				土壌表面散布		
	劇	3A	フォース粒剤	は種時 収穫14日前まで	1回	1回	4kg	—	タネバエ	—	—	粒剤	播溝土壌混和	テフルトリン	
							6～9kg	—	キスジノミハムシ				全面土壌混和		
							4kg～9kg	—	キスジノミハムシ				播溝土壌混和		
							6kg	—	キスジノミハムシ				株元散布		
	3A	トレボン乳剤	収穫21日前まで	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	アブラムシ類、コナガ、ヨトウムシ、アオムシ	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス			
	4A	アドマイヤー1粒剤	は種時	1回	3kg～6kg	—	アブラムシ類	—	—	粒剤	播溝土壌混和	イミダクロプリド			
	劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	1回	1回	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	アブラムシ類、カブラハバチ	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
							2,000倍(100～300g)	50g	コナガ、キスジノミハムシ、アオムシ、 ダイコンサルハムシ						
		4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	ジノテフラン	
							1,000倍(100～300g)	100g	キスジノミハムシ						
2,000倍(100～300g)							50g	ダイコンサルハムシ							
4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム				
4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル				
	6	アフーム乳剤	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50ml	アオムシ、コナガ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩		
						2,000倍(100～300g)	50g	ハイマダラノメイガ							
劇	13	コテツフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	アオムシ、コナガ、ダイコンサルハムシ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル			
劇	14	バダンスG水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	1,500倍(100～300g)	67g	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、カブラハバチ、 キスジノミハムシ、ハモグリバエ類	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ			
15	カスケード乳剤	収穫14日前まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25ml	アオムシ、コナガ、ハイマダラノメイガ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン				
28	プレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハイマダラノメイガ、 カブラハバチ、ハモグリバエ類	速	長	フロアブル	散布	クロラントラコリプロール				
29	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド				

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ラッソー乳剤	播種直後(壤土～埴土)	150ml(100g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期 イネ科3～5葉期 但し、収穫14日前まで	150～200ml(100～150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫45日前まで(雑草生育期播種前又は畦間処理)	300～500ml(100～150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	

# かんしょ(さつまいも)登録農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		1	トップジンM水和剤	植付前 貯蔵前～伏せ込み前	1回	200～500倍	—	黒斑病	—	—	水和剤	20～30分間種いも又は苗基部浸漬 30分間採苗用種いも浸漬	チオファネートメチル	
		1	ベンレート水和剤	植付前 挿苗時 収穫7日前まで	1回 3回以内	500～1,000倍 種いも重量の0.4% 500～1,000倍(20～40m <sup>2</sup> /株) 1,000倍(100～300 <sup>2</sup> )	— — 100g	つる割病、黒斑病 基腐病 黒斑病 つる割病 斑点病	— — ○	— — ○	水和剤	20～30分間苗基部浸漬 30分間苗浸漬 種いも粉衣 株元灌注 散布	ベンゾル	
		1、M3	ベンレートT水和剤20	植付前	1回	20倍 200倍	— —	黒斑病 黒斑病 基腐病	— —	— —	水和剤	1分間さし苗基部浸漬 30分間さし苗基部浸漬 30分間苗浸漬	チウラム ベンゾル	
		M1	ドイツボルドーA	—	—	500倍(100～300 <sup>2</sup> )	200g	斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	Zボルドー	—	—	500倍(100～300 <sup>2</sup> )	200g	斑点病、基腐病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	有効成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	苗床植付前 植付前	1回	10～30kg 15～20kg 20～30kg	— — —	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和 作条土壌混和 全面土壌混和	ホスチアゼート	
		1B	ダイアジノン粒剤5	植付前 収穫30日前まで	1回 3回以内	4～6kg 4～6kg	— —	ケラ、ネキリムシ類 コガネムシ類幼虫	—	—	粒剤	全面土壌混和又は作条土壌混和 作付前:全面土壌混和又は作条土壌混和、生育中:作条処理して軽く覆土	ダイアジノン	
		3A	フォース粒剤	植付前	1回	9kg	—	コガネムシ類幼虫、ハリガネムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和または作条土壌混和	テフルトリン	
		3A	アグロスリン水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000～2,000倍(100～300 <sup>2</sup> ) 1,000倍(100～300 <sup>2</sup> ) 2,000倍(100～300 <sup>2</sup> )	100～50g 100g 50g	ナカジロシタバ、ハスモンヨウ イモカ、エヒカラスメ、コナシラネ類、ネキアザミズメ、ヨウムシ アブラムシ類	速	長	水和剤	散布	シベルメトリン	
		3A	トレボン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100～300 <sup>2</sup> )	100ml	ハスモンヨウ、ナカジロシタバ、アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンロックス	
		4A	アクタラ粒剤5	植付前 育苗期	1回	6～9kg 6～9kg 6kg	— — —	コガネムシ類幼虫 アブラムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和 作条混和 株元散布	アチメキサム	
		6	アフーム乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍～2,000倍(100～300 <sup>2</sup> )	100～50ml	ハスモンヨウ、シロイモシヨウ	速	短	乳剤	散布	エマクテン安息香酸塩	
		2B	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍～6,000倍(100～300 <sup>2</sup> ) 6000倍 16～32倍(0.8～1.6 <sup>2</sup> )	50～17g 17g —	ハスモンヨウ、ナカジロシタバ ヒルガオハモグリガ ハスモンヨウ、ナカジロシタバ	速	長	顆粒水和剤	散布 無人航空機による散布	フルベンジアミド	

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期挿苗前又は畦間処理(収穫14日前まで)	200～500ml(100～150 <sup>2</sup> )	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
毒		ブリグロックスL	植付前 畦間処理、雑草生育期(但し、収穫30日前まで)	600～1,000ml(100～150 <sup>2</sup> )	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・バラコート	

# こんにやく登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草剤・展着剤)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	農業総使用回数、合わせて1回以内	—	<圃場>2~3ml/穴 <床土・堆肥>3~5ml/穴	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	IRAC 8	ドロクロール	—	1回	農業総使用回数、合わせて1回以内	—	<圃場>2~3ml/穴 <床土・堆肥>3~5ml/穴	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播付21日前まで	1回	—	—	20~30kg	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		25、41	アグリマイシン-100	播付前 収穫30日前まで	6回以内 (但し、種芋の浸漬は1回)	250~500倍 1時間種芋浸漬 1,000倍(100~300g)	— 100g	腐敗病 腐敗病、葉枯病	○	○	水和剤	浸漬 散布	オキシテトラサイクリン、ストレプトマイシン 硫酸塩		
	劇	3	トリフミンジェット	播付前 密閉出来る場所	1回	農業総使用回数、合わせて1回以内	2㎡当り50~100g	—	乾腐病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	
		3	トリフミン乳剤	播付前	1回	—	30倍(種芋1㎡当り150ml)	—	乾腐病	○	○	乳剤	芽基部に散布	トリフルミゾール	
		3	トリフミン水和剤	播付前	1回	—	50倍(種芋1㎡当り150ml)	—	乾腐病	○	○	水和剤	芽基部に散布	トリフルミゾール	
		31	スターナ水和剤	播付前 収穫14日前まで	1回 5回以内	30~100倍 種芋に150ml/㎡吹付	— 100g	腐敗病	○	○	水和剤	種いも吹付け処理 散布	オキシソリニック酸		
		7	モンカットファイン粉剤20DL	培土時(収穫30日前まで)	1回	3g	—	白絹病	○	○	DL粉剤	株元散布	フルトラニル		
		14	リゾレックス水和剤	収穫30日前まで	3回以内	1,000倍 (3g/㎡)	100g	白絹病	○	×	水和剤	株元灌注	トルクロホスメチル		
		M1	キノド-水和剤40	収穫30日前まで	8回以内	500~800倍 (100~300g)	200~167g	腐敗病、葉枯病	○	×	水和剤	散布	有機銅		
		M1	ヨネボン	収穫30日前まで	7回以内	500倍 (100~300g)	200ml	腐敗病、葉枯病	○	×	乳剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅		
		M1	4-4式ボルドー液	—	—	生石灰・硫酸銅共に400g/100g	—	腐敗病、葉枯病	○	×	—	散布	塩基性硫酸銅		
		M1	Zボルドー	—	—	500~800倍 (100~300g)	200~125g	腐敗病、葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
		M1	ICボルドー66D	—	—	40倍 (100~300g) 40~80倍 (100~300g)	2.5g 2.5~1.3g	腐敗病 葉枯病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅		
		NC M1	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	500倍 (150~500g)	200g	葉枯病	○	△	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅		

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		4A	アドマイヤー1粒剤	培土時(基根伸長期) 生育期(収穫21日前まで)	1回 2回以内	3~6kg 6kg	— —	アブラムシ類	—	—	粒剤	株元土壌混和 茎葉散布	イミダクロプリド	
	劇	4A	アドマイヤー顆粒水和剤	収穫21日前まで	2回以内	10,000倍 (100~300g)	10g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	イミダクロプリド	
		1B	スミチオン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	MEP	
		29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド	
		11A	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し収穫前日まで	—	1,000倍 (100~300g)	100g	ハスモンヨトウ	中	短	顆粒水和剤	散布	BT	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤(非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期播付前又は播付後萌芽前	3回以内	薬量200~300ml (100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
	雑草生育期、畦間処理(収穫30日前まで)		薬量300~500ml (100~150g)							
土壌処理除草剤		クレマトU粉剤	播付後又は培土後(雑草発生前)ただし収穫120日前まで	1回	農業総使用回数、合わせて1回以内	4~6kg	一年生雑草	粒剤	全面土壌散布	ブタモス
		クレマト乳剤	播付後又は培土後(雑草発生前)ただし収穫120日前まで	1回	—	200~400ml (100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタモス
雑草除草剤(選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期(収穫60日前まで)	1回	—	150~200ml (100~150g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は全面散布	セトキシジム
展着剤		ステッケル	—	—	—	100ml/散布液10g (100倍)	適用農薬 銅水和剤、ボルドー液	—	添加	パラフィン
		ハイテンパワー	—	—	—	1~2ml/散布液10g(5,000~10,000倍)	適用農薬 殺菌剤、殺虫剤	—	添加	ポリオキアルキレン脂肪酸エステル